

令和3年度事業報告

【公益社団法人幸田町シルバー人材センター】

I はじめに

令和2年1月から日本を始め、世界中に広まった新型コロナウイルスの感染は、ウイルスの変異を繰り返し、令和3年度に入っても感染拡大は収まることはなく、緊急事態宣言やまん延等防止措置の発令により、日本経済に大きな影響を及ぼしています。

こうした状況下の中ではありますが、令和3年度の請負契約金額の総額は、209,896千円で対前年度比14,880千円、7.6%の大幅増となりました。受注件数は前年度△9件の1,467件でしたが、就業延べ人数は46,425人日と前年度を2,332人日上回りました。

また、労働者派遣事業においては、新型コロナウイルスの影響から契約金額は11,487千円で、対前年度比1,365千円、10.6%の大幅減となりました。

請負、労働者派遣事業の契約金額の合計は、221,374千円、受託事業収益の合計は216,830千円と前年度比107.8%という状況となりました。

このことは、新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、感染予防対策を講じながら就業を続けてきた会員の熱意と努力によるものであります。

一方、会員拡大については、当センターの最重点課題と位置づけて、シルバーこうたの全戸配布、ケーブルテレビによるシルバー会員の紹介、会員増強月間の取り組みや会員紹介カードを活用した入会促進を行ってききましたが、結果的には、会員の高齢化が進んでいることもあり、加齢、本人の病気、家族の介護などの理由から前年度末比25名の大幅減の349名という大変厳しい結果となりました。

安全就業面では、傷害事故1件、損害賠償事故1件の計2件が発生しておりますが、草刈安全講習会を全ての草刈作業に従事する会員に実施するなど安全意識の向上を図った結果、飛び石事故は令和2年度から引き続き0件を維持することができました。

シルバーの就業においては、何よりも安全が優先されるため、引き続き安全就業の推進に努めていきたいと考えています。

長引く、新型コロナウイルスの感染拡大という厳しい状況の中ではありますが、会員の感染予防と健康を最優先に、引き続き会員拡大を第一の目標に掲げ、就業機会の継続・拡大を図りながら、今後も「地域に喜ばれ、信頼されるセンター」を目指して各事業に取り組んでまいります。

II 事業実施報告

(1) 会員数増強を目標に向けた取り組み

令和3年度は、昨年度と同じ会員数 400 人の目標を定め、目標に向けた取り組みを次のとおり実施しました。65 歳までの雇用の義務化や 70 歳までの雇用継続の努力義務化などにより、60 歳代の入会者は減少しています。長引く、新型コロナウイルス感染拡大という非常事態の中で、シルバーの普及啓発や会員拡大の取り組みを進めてきましたが、会員の高齢化、病気、家族の介護などの理由から退会会員が大幅に増加し、会員数は前年度を大幅に下回る結果となりました。

ア 入会説明会の毎月定期開催及び随時開催

イ 8月から12月の5ヶ月間を「会員増強・拡大月間」と位置づけ、各会員から友人や知人に1人以上加入の呼びかけを依頼

ウ 会員紹介カードの活用による加入促進の実施

エ 会員募集を掲載したシルバーこうたの年 2 回発行

オ 三河湾ネットワークのケーブルテレビを活用したシルバーの普及啓発の実施

カ シルバーショップ「お花畑」の開設による入会機会の創出と退会抑制

(入退会会員数)

項目	令和3年度	前年度	前年対比
入会会員数	46人	48人	△2人
退会会員数	71人	47人	24人
増減数	△25人	1人	—
年度末会員数	349人	374人	△25人

(2) 相談事業の実施

高年齢者の雇用、就業に伴う相談窓口を常設し、入会希望者や地域住民、発注希望者等の方からの相談に対応しました。

(3) 就業機会の確保と組織的提供(請負・委任)の推進

ア 就業開拓推進員を配置しましたが、定期的な企業訪問等ができず、仕事の新規受注や開拓までには至りませんでした。

イ 就業機会を確保し、就業を希望する会員に就業情報を提供しました。

ウ 就業機会拡大のため、幸田町を始め関係行政機関、(公社)愛知県シルバー人材センター連合会(以下「県シ連」という。)等との連携を図り、適正な事業運営の推進・改善を図りました。

(契約金額等の実績)

項目	令和3年度	前年度	前年度比
就業延人数	46,425人日	44,093人日	105.3%
契約金額	209,896千円	195,016千円	107.6%
配分金額	179,369千円	167,987千円	106.8%

(4) 指定管理事業の実施

令和3年度から5年間の幸田町高齢者生きがいセンター及び幸田町高齢者ふれあいプラザの指定管理が始まりましたが、度重なる新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言等を受けて、ふれあいプラザは施設の閉館や、生きがいセンターは団体活動の自粛をお願いしたため、利用は前年度に続き低迷しました。

(指定管理業務の収支状況)

施設名	幸田町高齢者 生きがいセンター	幸田町高齢者 ふれあいプラザ
収入(町委託料)	5,302 千円	3,542 千円
支出(経常経費)	4,949 千円	2,976 千円
差引	353 千円	566 千円
令和3年度利用者数	4,010 人	1,171 人
前年度利用者数	2,803 人	1,369 人
前年度比	143.1%	85.5%

(5) 有料職業紹介事業の実施

会員からの就職希望等の相談もなく、実績はありませんでした。

(6) 労働者派遣事業の推進

シルバー事業における高年齢者の多様な働き方のひとつとして、県シ連を派遣元として、幸田町事務所を開設して労働者派遣事業を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大により、企業活動の回復が思うように進まず、契約金額等昨年度を下回りました。

ア 全シ協の補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、派遣事業の推進を図りました。

イ 派遣先事業所は、5 事業所と契約が交わされたが、新規契約事業所はありませんでした。

ウ 派遣事業の適正な運用を図るため、担当者が県シ連主催のシルバー派遣事業定例連絡会議にオンライン参加しました。

(契約金額等の実績)

項目	令和3年度	前年度	前年度比
登録会員数	55 人	67 人	△12 人
受注件数	13 件	15 件	△2 件
就業延人員	1,833 人日	2,066 人日	88.7%
契約金額	11,478 千円	12,844 千円	89.4%
受託収益	1,054 千円	1,324 千円	79.6%

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

介護予防・日常生活支援総合事業については、事業開始 4 年目となりました。利用者等は前年度から増加しており、今後も地域包括支援センターとの連携強化を図っていきます。

(利用実績)

項目	令和 3 年度	前年度	前年度比
利用者数	11 人	7 人	4 人
就業延べ人数	459 人	291 人	168 人
契約金額	1,115 千円	703 千円	412 千円

(8) 就業機会につなげる講習会等実施事業の推進

会員の技能習得・向上及び会員の事故防止・安全意識向上を図るための講習会を開催しました。

(講習会等開催状況)

講習会等名	開催日	場 所	参加者数
草刈安全講習会	R3 年 8 月 17 日 ～R3 年 12 月 13 日	会員就業先	会員 50 名
交通安全講習会	R3 年 11 月 30 日 ～R4 年 1 月 4 日	高齢者生きがいセンター 及び会員就業先	会員 81 名
公園トイレ清掃講習会	R4 年 1 月 4 日～ R4 年 1 月 24 日	会員就業先	会員 10 名

(9) 調査研究事業の実施

センター事業発展のため企業等の雇用情報や新規事業の立ち上げのための企業、行政等との調整を行い、新規受注及び会員の就業機会につなげました。

ア 町内企業等の雇用情報を収集し、新規受注相談等に対応し、当センター会員へ就業機会を提供しました。

イ 令和 4 年度の配分金基準単価見直しのため、西三河管内シルバー人材センターの配分金単価等を調査しました。

ウ 先進地シルバーの視察研修会については、新型コロナウイルス感染拡大から昨年度に続き、本年度の開催は見合わせました。

(10) 安全・適正就業の推進

会員の安全かつ適正な就業が課題となっており、会員の安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図るために各種事業を実施しました。

ア 令和3年度安全・適正就業実施計画の策定

イ 安全・適正就業委員会の開催(3回)

ウ 安全・適正就業委員による現地パトロール指導(4回)

- エ 安全就業のための講習会の実施(草刈安全講習会、交通安全講習会、公園トイレ清掃講習会)
- オ 会員就業先 80 箇所への熱中症パトロール実施
- カ 県シ連主催「安全・適正就業研修会」に参加
- キ 各職班での就業前ミーティングで安全就業・事故防止を指導

(11) 当センターの活動等において周知を図る事業の推進

当センター事業の発展には、会員の増強が不可欠であるため、シルバー人材センターの理念、活動を町民及び関係者に広く周知し、会員確保を図るべく積極的な普及啓発に努めました。

- ア 三河湾ネットワークケーブルテレビのシルバーの活動紹介「幸田発ハツラツさん紀行」の取材に協力しました。
- イ 機関紙「シルバーこうた」を年 2 回発行し、情報発信、普及啓発に努めました。
- ウ インターネットのホームページを適時更新し、情報発信に努めました。
- エ 女性会員入会促進のため、連合会作成のパンフレットを地域にスポットで配布しました。

(12) ボランティア活動を通して地域社会に貢献

地域社会への貢献と当センターの普及啓発を目的に会員の協力を得て、ボランティア活動を実施しました。

(ボランティア活動実施状況)

活動名称	開催日・場所	参加人数等
「秋の全国交通安全運動」の街頭啓発	新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令で中止	
町内小中学校へ雑巾寄附	令和 3 年 11 月 24 日 幸田・南部中学校、深溝、豊坂小学校	作成会員 39 名 作成雑巾 194 枚
清掃ボランティア活動	令和 3 年 12 月 8 日 幸田中央公園周辺	会員 21 名 職員 5 名

(13) 外部監査の受け入れ

高齢法に基づく、当センターの公益法人としての適正な事業運営及び町補助金の適正執行及び事業運営監査・指導等を次のとおり受け入れました。

監査等の名称	開催年月日	場所等
愛知県就業促進課立入検査	令和 3 年 11 月 19 日	高齢者生きがいセンター
幸田町事務監査(福祉課)	令和 4 年 2 月 25 日	高齢者生きがいセンター

(14) 総会・理事会等の開催

当センターの事業推進のため、次のとおり会議等を開催しました。

(会議等開催状況)

会議名	開催日	開催回数
決算監査会	令和3年4月22日	1回
定時総会	令和3年5月26日	1回
理事会（文書報告除く）	原則毎月開催	10回
総務広報委員会	令和3年6月9日他	2回
就業開拓・会員増強委員会	令和3年6月15日	1回
安全・適正就業委員会	令和3年7月7日他	3回